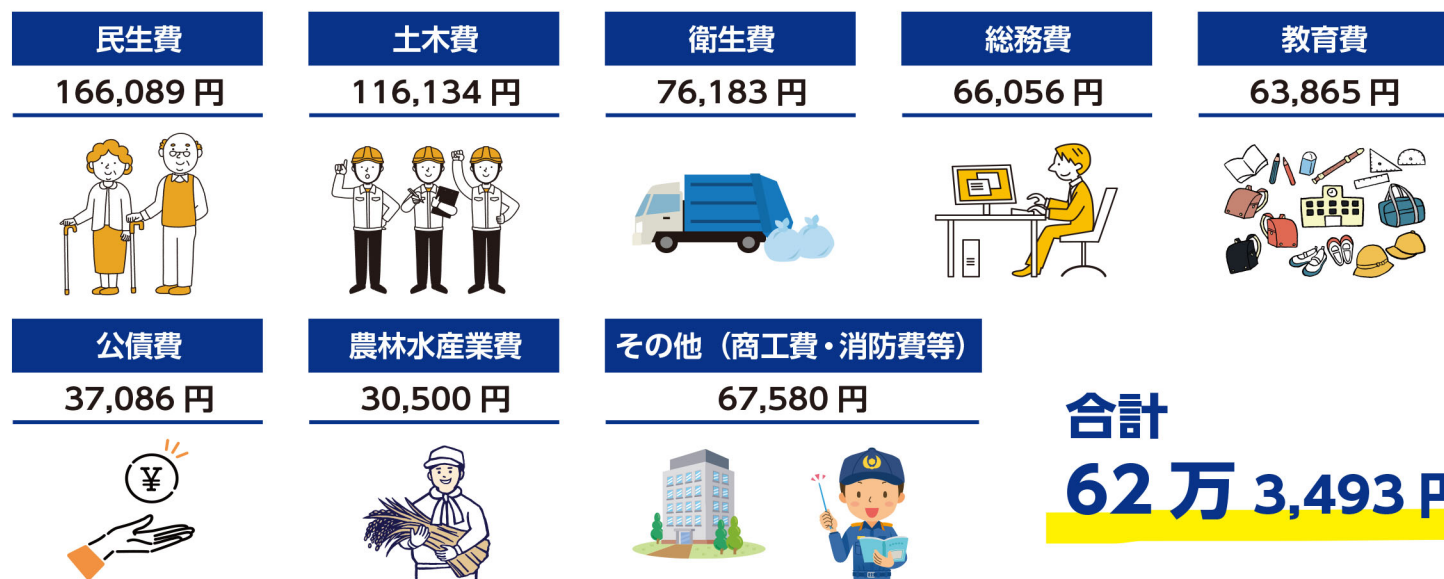


歳出（支出）を市民1人あたりに換算すると



市の借金と貯金はどれくらい？（市債・債務負担行為の元利計）

借入金現在高 269億9,195万円

うち臨時財政対策債 63億3,100万円

（臨時財政対策債は、本来国から市に来るべきお金を国が用意できないため、市が代わりに借り入れるものです。返済分のお金は国が負担しています）

基金残高 35億530万円

基金には、災害が発生したり、経済の急激な変化で税収が減ったりなどといった不測の事態に備えて積み立てている財政調整基金や、教育施設の耐震化事業、本宮駅東西自由通路の整備事業など特定の目的のために積み立てている基金があります。

基金名	令和3年度末残高
財政調整基金	15億8,802万円
教育施設等整備事業基金	5億6,485万円
地域福祉基金	3億3,561万円
市営住宅等管理基金	4億9,373万円
本宮駅東西自由通路等整備基金	1,613万円
五百川駅前広場等整備基金	1億8,918万円
未来人材育成基金	2,000万円
減債基金	0円
その他特定目的基金	2億9,778万円
合計	35億530万円

今後も健全な財政運営を行っていきます

単年度の収支状況だけでは、財政がどのような状態にあるかわかりません。そこで、市の財政運営に関わるすべての要因を含めて判断するために次の4つの指標を算出します。令和3年度決算では、4つの指標とも基準を下回りました。今後も事業の効率化を図り、健全な財政運営をしていきます。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づく指標		本宮市	本宮市の早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計の赤字の割合	0.0%	13.5%	20.0%
連結実質赤字比率	全会計の赤字の割合	0.0%	18.5%	30.0%
実質公債費比率	1年間の収入に対して全会計が返済する借金が占める割合	5.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	財政規模に対して全会計の将来に負担が見込まれる負債の割合	60.0%	350%	

財務部 財政課 ☎ 24-5305

令和3年度の 決算を報告します

決算の概要

会計名	歳入 (A)	歳出 (B)	繰り越し財源 (C)	実質収支 (A-B-C)
一般会計	202億4,159万円	187億2,975万円	2億6,840万円	12億4,344万円

会計名	歳入 (A)	歳出 (B)	実質収支 (A-B)	
国民健康保険特別会計	28億5,030万円	27億4,098万円	1億931万円	
後期高齢者医療特別会計	3億962万円	3億809万円	152万円	
介護保険特別会計	29億3,987万円	27億2,530万円	2億1,458万円	
工業用地造成事業特別会計	1億2,672万円	1億2,649万円	23万円	
工業用地資産運用事業特別会計	1億1,462万円	1億1,462万円	0万円	
水道事業会計	経常的な収支	9億9,493万円	8億6,733万円	1億2,760万円
	投資的な収支	1億1,826万円	8億531万円	▲6億8,705万円
下水道事業会計	経常的な収支	7億8,688万円	6億4,370万円	1億4,318万円
	投資的な収支	4億7,547万円	7億1,885万円	▲2億4,338万円

※端数処理の都合上、差引額に差異が生じる場合があります。

決算のポイント

- ▶ 一般会計の実質収支額は、**12億4,344万円となり黒字決算。**
- ▶ 本宮市財政運営計画を遵守し、限られた財源の重点的・効率的な配分を行い、**健全な財政運営に努めてきました。**

令和3年度の主な事業

【分野1】子育て・教育

第2保育所整備事業…3億8,130万円

【分野2】健康・医療・福祉

新型コロナウイルス感染症対策事業…
3億3,408万円

【分野3】経済・産業・仕事

商工業経営金融支援事業…6,671万円

【分野4】生活環境・都市基盤

本宮駅周辺東西アクセス整備事業…
15億2,623万円

【分野5】市民・行政活動

住民基本台帳事務…6,068万円

令和3年福島県沖地震関連事業

小中学校災害復旧事業…1億9,533万円